

2016年11月1日

熱硬化性成形材料事業 中国珠海工場で試運転を開始

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）は、2015年11月より中国広東省珠海市にて建設を進めてきた、熱硬化性成形材料（Bulk Molding Compound 以下、BMC）事業の中国第二拠点の工場建設において、今月より試運転を開始します。今後はユーザーの評価を得た後に、2017年初頭より量産・販売を開始する予定です。

BMC は、不飽和ポリエステル樹脂を主成分に、ガラス繊維などを混練した熱硬化性成形樹脂のことで、自動車向けランプリフレクターやエンジンカバー、プロジェクター向け精密成形品部材などの用途で使用されます。また、今後エアコン・洗濯機等の家電向け電源ハウジング・モーター封止材料や電気自動車、ハイブリッド車向けのモーター封止材としての用途拡大が見込まれています。BMC の成形時には耐熱性、耐水性、電気特性のほか、高い寸法精度が求められますが、当社グループはBMCの製造販売にとどまらず、お客様のご要望にあわせたBMC成形品の設計、カスタマイズにまで強みを発揮しています。

当社は台湾の合成樹脂材料メーカーである長興材料工業股份有限公司との合併により、中国広東省珠海市に当社グループとして中国で2番目となる生産拠点、昭和電工新材料（珠海）有限公司を新設し、昨年より新工場建設を進めてきておりました。

当社グループのBMC事業は、日本、上海、タイの3か所に生産拠点を有していますが、中国におけるBMCの販売は高い伸びを示しており、上海拠点ではフル操業の状況が続いています。今後、さらなる拡大が予想される中国市場において、上海と珠海の2カ所で生産を行うことにより、同地域における供給体制を強化します。

当社グループでは、現在推進中の中期経営計画“Project 2020+”において、機能性化学品事業を成長加速事業の一つに位置づけております。アジア圏における高分子事業の展開を積極的に進め、事業拡大を推進していきます。

以上



【昭和電工新材料（珠海）有限公司】

【BMC 合併会社の概要】

社名	昭和電工新材料（珠海）有限公司		
所在地	中国広東省珠海市		
設立	2015年7月		
操業開始	2017年初頭		
事業内容	熱硬化性成形材料（BMC: Bulk Molding Compound）の製造		
資本金	7000万人民元（日本円：11億2000万円 *16円で計算）		
株主	昭和電工株式会社	70%	
	長興材料工業股份有限公司	30%	
従業員	約50人		

◆本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235

